

(特非) 赤目の里山を育てる会

名張地域における「まちづくり協議会」(以下 まち協) との里山保全人材育成講座の開講

イベントの 延べ参加者数	100人
イベント参加者の 満足度	90%
活動の全体目標 に対する達成度	85%



錦生地区住民と青年ボランティア

◆成果と工夫したポイント

- 成果** 三地域で100名以上が里山の大切さ・重要性を認識した。また、50名近い人たちが実地研修に参加。実地研修で整備した里山は3ha。里山シンポジウムには60名の方々が参加して、これからの地域を検討した。
- 工夫** 「まち協」の役員の方々に早い時期から声をかけて、半年くらいかけて協力を取りつけた。事業内容を良く把握した。

課題

名張地域において、里山の保全を目的として、地域の景観を守り生物の多様性を図るために、「まちづくり協議会」と一緒になって、里山保全の人材育成講座を開講する。

活動内容

名張市内15地区の中から3地区(錦生地区・赤目地区・名張地区)が手をあげて、里山人材育成講座を開講した。地域内の有識者による「座学」には、延べ100名の参加があった。また、放置された里山での保全の実地研修も行った。保全地域は5か所で、その場所の環境アセスメントも実施し、保全に取り組んだ。平成28年2月には三地区合同の里山シンポジウムを開催し、60名以上の参加があった。関わった人たちから良好な感想が寄せられている。



赤目公民館での里山講座

今後の課題

名張市の「まち協」の2/3で講座を開催していく。人材育成と里山保全を同時に進めていきたい。